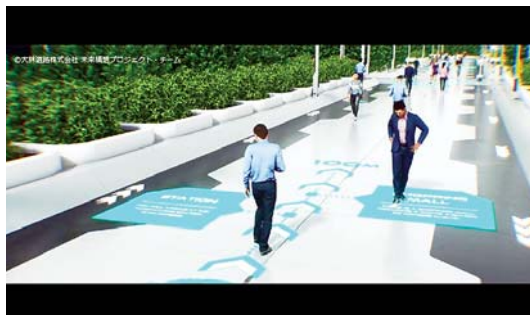


大林道路

未来の道路を発信 動画で舗装技術紹介

大林道路は、「未来構想プロジェクト・チーム」が考える、未来の道路と舗装技術を



歩行者最優先歩道のイメージ

紹介する動画「私のつくる道」を、同社の公式YouTubeチャンネルで公開する。動画内では、自然治癒舗装、歩行者最優先歩道、給電舗装、パネル舗装といった未来の舗装工法を提案している。動画は、ステークホルダーに発信するほか、学生を対象とした会社説明会や各種展示会での放映、メディアへの広告展開を検討している。

同社は、2033年に迎える創立100周年の「目指す将来像」に、「最高水準の技術力と生産性を備えた道路のスペシャリスト集団」となることを掲げている。21年7月

には未来構想プロジェクト・チームを立ち上げ、前身となる「10年後の大林道路を考える会」が提言した同社の目指すべき姿に向け、さまざまな課題に対して社内に向けた提案を重ねてきた。今回、検討内容を、未来の道路と舗装技術としてさまざまなステークホルダーに提案するため、動画を制作した。

動画内で提案している舗装工法のうち自然治癒舗装は、経年劣化や荷重による路面のひび割れ・わだち・平坦性を自動で修復する舗装技術だ。歩行者最優先歩道は、プロジェクトマップピングや通信の技術を活用して歩行者を目的地に誘導し、歩行者と並行して走行する軽車両に対しては、通信技術で自動減速・停

止指示を出すもの。このほか、空飛ぶクルマ（EV）に自動給電する機能を持ち、車両が走行しながら給電できるだけでなく、飛行時の離発着にも対応する給電舗装、パネルのよつに組み合わせで敷設でき、道路空間の利用方法の変化に応じて部分的に取り替えや補修可能なパネル舗装が紹介されている。

